

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

Optimo dilator kit を使用した上腕動脈直接穿刺による頸動脈ステント留置術の有用性

1．研究の対象および研究対象期間

2013 年 7 月 1 日から 2024 年 4 月 30 日に昭和大学病院脳神経外科で上腕動脈 Optimo dilator kit を使用した上腕動脈直接穿刺による頸動脈ステント留置術を行った患者さん

2．研究目的・方法

カテーテル治療は一般的には大腿動脈穿刺（鼠径部アプローチ）を行うことが多いですが、大動脈の状態（例：大動脈瘤など）や複雑な血管走行を伴う場合に大腿動脈アプローチが困難な場合があります。今回、上記の患者さんに対する上腕動脈アプローチによるステント留置術の有用性を診療録情報を用いて評価します。

3．研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2029 年 4 月 30 日まで

4．研究に用いる試料・情報の種類

患者背景（性別、年齢、診断名、入院日、転入日、転棟日、退院日、在棟期間、入院期間、転帰、入院時入院形態、既往歴、内服薬、生活歴、社会歴）、CT/MRI/脳血管撮影での血管走行、ステント留置術の際に使用されたデバイス（ガイディングカテーテル、ワイヤー、プロテクションデバイス、血管形成用バルーン、ステント）

5．外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6．研究組織

研究責任者 研究機関名昭和大学病院 氏名 相浦 遼

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：脳神経外科

氏名：相浦 遼

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8605